

文部科学省産学官連携支援事業委託事業

**イノベーション経営人材育成システム構築事業
「大学トップマネジメント研修」
目録**

成果報告書 別冊

平成31年3月 国立大学法人 政策研究大学院大学



本目録は、文部科学省の産学官連携支援事業委託事業による委託業務として、国立大学法人政策研究大学院大学が実施した平成28年度から平成30年度「イノベーション経営人材育成システム構築事業」大学トップマネジメント研修の内容を取りまとめたものです。

※講師は50音またはアルファベット順、敬称略で記載する。
※講演者・講師の所属・役職等は当時のものを記載する。

目 次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 本目録の目的 | 1 |
| 2. 国内プログラム | 2 |
| 2.1 平成 28 年度 | 2 |
| 2.1.1 講義 | 2 |
| 2.1.2 ワークショップ | 4 |
| 2.2 平成 29 年度 | 5 |
| 2.2.1 講義 | 5 |
| 2.2.2 ワークショップ | 7 |
| 2.2.3 鼎談 | 7 |
| 2.3 平成 30 年度 | 8 |
| 2.3.1 講義 | 8 |
| 2.3.2 ワークショップ | 10 |
| 3. 海外プログラム | 11 |
| 3.1 カリフォルニア大学サンディエゴ校 | 11 |
| 3.2 シンガポール国立大学 | 13 |
| 3.3 シカゴ大学 | 14 |
| 3.4 スタンフォード大学 | 14 |
| 3.5 カリフォルニア大学バークレー校 | 14 |
| 3.6 ウォータールー大学 | 14 |
| 4. ユニバーシティ・リーダーズ | 15 |
| 4.1 シンポジウム | 15 |
| 4.2 パネルディスカッション | 17 |
| 4.3 鼎談 | 18 |
| 5. 世界の大学事情 | 19 |

1. 本目録の目的

文部科学省委託事業「イノベーション経営人材育成システム構築事業」では、将来の大学のイノベーション経営の中枢を担うことが期待されている日本の大学の経営層(ユニバーシティ・リーダーズ)に対して、平成28年度～平成30年度に「大学トップマネジメント研修」を実施した。3カ年をとおして実際された本研修は、国内プログラム、海外プログラム、ネットワーク構築の3本の柱から成る。国内プログラムでは国内大学の学長経験者、産業界の有識者、研究者等の国内講師を通し日本のイノベーション経営の先進的事例を学び、北米や英国、東南アジアにおける世界トップの研究大学のユニバーシティ・リーダーズを招聘し大学マネジメントに関する知識・ノウハウを修得し、そのネットワークを構築した。海外プログラムでは、先駆的な大学経営を実施している海外の大学とともに開発したテラーメイドの人材育成プログラムにおいて講義形式でガバナンスやマネジメントについて学ぶと共に、世界の研究大学のリーダーを訪問して議論を中心に実践的な大学マネジメントを学ぶ機会を提供した。これらの国内・海外プログラム及びユニバーシティ・リーダーズとのネットワーク構築を開発・実施し、我が国の高等教育機関におけるイノベーション経営システムの確立に向けた経営人材の計画的育成に資する目的でプログラムを構築した。

本事業において構築したプログラムの内容は本別冊において「大学トップマネジメント研修目録」としてまとめる。この目録をとおしてイノベーション経営に関する優れた国内外の識見やマネジメント能力、科学技術・イノベーション政策に関する深い理解を獲得し、多様な学問領域から構成される複雑な大学組織全体をマネジメントすることのできる経営人材を育成し、各大学におけるイノベーション経営システムの抜本的強化を図ると共に、我が国の高等教育機関のみにとどまらずグローバルなユニバーシティ・リーダーズ・ネットワークを構築し、相互協力を促進する一助となることを期待する。

研修生の所属大学数及び人数

| | | | |
|--------|----|------|-----|
| 平成28年度 | 18 | 国立大学 | 24名 |
| 平成29年度 | 21 | 国立大学 | 21名 |
| 平成30年度 | 20 | 国立大学 | 22名 |

2. 国内プログラム

本事業における国内プログラムは、国内の学長経験者、産業界からの有識者、科学技術政策や高等教育政策に関連する分野の研究者による講義やワークショップ等を通じて、大学の戦略的なマネジメントを遂行する際に必要な基礎的な知識を参加者に提供することを目的として実施した。3カ年事業をとおして提供した講義内容、ワークショップ、鼎談は次のとおりである。

2.1 平成 28 年度

2.1.1 講義

| 内容 | 講師 | 講義 |
|--|--------|-------------------------------------|
| <政策に関する科目> 科学技術政策論 高等教育政策論 | 有本 建男 | 転換期における科学技術・政策・制度・人 |
| <大学の戦略・マーケティングに関する科目> 大学経営戦略論 | 上山 隆大 | 大学マネジメント論 |
| <大学の人事・組織に関する科目> 大学組織ガバナンス論 人材マネジメント論 リーダーシップ論 | 安西 祐一郎 | 大学と経営 |
| | 濱口 道成 | 国立大学の経営：私の視点 |
| <大学の評価に関する科目> 教育評価論 研究評価論 | 林 隆之 | 教育研究活動の分析・評価 |
| <大学の財務会計に関する科目> 大学財務会計論 フィランソロピー論 | 藤原 洋 | フィランソロピストから見た日本の大学 |
| | 宮内 忍 | 大学の財務会計論：国立大学法人の財政・会計とガバナンスについて |
| <産学連携に関する科目> アントレプレナーシップ論 産学連携マネジメント論 地域連携マネジメント論 | 菅 裕明 | 国際競争力をつけるためのトップマネジメントとアントレプレナーシップ戦略 |
| | 宮本 岩男 | 産学連携活動の見える化を通じたカイゼン活動の推進について |
| | 山本 貴史 | 産学連携マネジメント論 |
| <知財に関する科目> 大学技術移転マネジメント論 知的財産権論 | 渡部 俊也 | 知的財産権論：大学における知的財産のマネジメント |

<政策に関する科目>

講師 有本 建男（政策研究大学院大学教授、SciREX センター 副センター長）
講義 転換期における科学技術・政策・制度・人（平成 29 年 3 月 18 日）

<大学の戦略・マーケティングに関する科目>

講師 上山 隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
講義 大学マネジメント論（平成 29 年 3 月 18 日）

<大学の人事・組織に関する科目>

講師 安西 祐一郎（日本学術振興会 理事長、中央教育審議会 会長、元慶應義塾長）
講義 大学と経営（平成 28 年 10 月 2 日）

講師 濱口 道成（国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長）
講義 国立大学の経営：私の視点（平成 28 年 12 月 18 日）

<大学の評価に関する科目>

講師 林 隆之（大学改革支援・学位授与機構 教授）
講義 教育研究活動の分析・評価（平成 29 年 3 月 18 日）

<大学の財務会計に関する科目>

講師 藤原 洋（株式会社ブロードバンドタワー代表取締役 会長兼社長 CEO、一般財団法人インターネット協会 理事長、SBI 大学院大学 副学長・教授、慶應義塾大学環境情報学部 特別招聘 教授、京都大学宇宙総合学研究ユニット 特任教授、豊橋技術科学大学 客員教授）
講義 フィランソロピストから見た日本の大学（平成 28 年 10 月 2 日）

講師 宮内 忍（宮内公認会計士事務所 公認会計士）
講義 大学の財務会計論：国立大学法人の財政・会計とガバナンスについて（平成 28 年 10 月 1 日）

<イノベーション各論に関する科目>

講師 菅 裕明（東京大学大学院理学系研究科 教授、ペプチドリーム株式会社社外取締役）
講義 国際競争力をつけるためのトップマネジメントとアントレプレナーシップ戦略（平成 28 年 10 月 1 日）

講師 宮本 岩男（資源エネルギー庁放射性廃棄物対策技術室長・広報室長）
講義 産学連携活動の見える化を通じたカイゼン活動の推進について（平成 28 年 12 月 17 日）

講師 山本 貴史 (株式会社東京大学 TLO 代表取締役 社長)
講義 産学連携マネジメント論 (平成 28 年 12 月 18 日)

講師 渡部 俊也 (東京大学政策ビジョン研究センター 教授)
講義 知的財産権論：大学における知的財産のマネジメント (平成 28 年 12 月 17 日)

2.1.2 ワークショップ

講師 **Jonathan Cole** (John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus, Columbia University)

タイトル On Being an Effective Provost or Leader of a Great Research University (平成 28 年 10 月 1 日)

講師 **Mary Walshok** (Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego)

タイトル Ten Tips for Creating Regional Innovation Systems (平成 28 年 12 月 17 日)

講師 **Tan Chorh Chuan** (President, National University of Singapore)

タイトル Building a Research University of the Future (平成 29 年 2 月 25 日)

2.2 平成 29 年度

2.2.1 講義

| 内容 | 講師 | 講義 |
|--|--------|--------------------------------------|
| <政策に関する科目> 科学技術政策論 高等教育政策論 | 有本 建男 | 21世紀の世界・科学技術・大学・人・科学と政策の架橋- |
| <大学の戦略・マーケティングに関する科目> 大学経営戦略論 | 上山 隆大 | 大学マネジメント論 |
| <大学の人事・組織に関する科目> 大学組織ガバナンス論 人材マネジメント論 リーダーシップ論 | 安西 祐一郎 | 大学と経営 |
| | 濱口 道成 | 国立大学の経営論 |
| <大学の評価に関する科目> 教育評価論 研究評価論 | 林 隆之 | 教育研究活動の分析・評価 |
| <大学の財務会計に関する科目> 大学財務会計論 フィランソロピー論 | 片山 英治 | 「イノベーション時代の大学財務マネジメント」に必要な取り組みを考える |
| | 佐藤 大吾 | 大学等における多様な資金の獲得方策 |
| | 福井 文威 | 米国高等教育と寄付政策 |
| | 宮内 忍 | 国立大学の財政・会計とガバナンス |
| | 吉田 房代 | 寄附獲得拡大に向けた戦略的な体制とは ～経営者視点から考える～ |
| <産学連携に関する科目> アントレプレナーシップ論 産業連携マネジメント論 地域連携マネジメント論 | 西村 訓弘 | 地方国立大学の経営戦略・地域での存在意義を自覚した三重大学における改革- |
| | 宮本 岩男 | 産学連携活動の見える化を通じた更なる深化に向けて |
| | 山本 貴史 | 大学間格差が広がる産学連携活動 |
| <知財に関する科目> 大学技術移転マネジメント論 知的財産権論 | 渡部 俊也 | 大学における知的財産活用の戦略とマネジメント |

<政策に関する科目>

- 講師 有本 建男（政策研究大学院大学教授、科学技術イノベーション政策研究センター副センター長（兼）国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー）
- 講義 21世紀の世界・科学技術・大学・人・科学と政策の架橋-
（平成30年3月11日）

<大学の戦略・マーケティングに関する科目>

- 講師 上山 隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
- 講義 大学マネジメント論（平成29年6月2日）

<大学の人事・組織に関する科目>

- 講師 安西 祐一郎（独立行政法人日本学術振興会 理事長）
- 講義 大学と経営（平成29年6月4日）
- 講師 濱口 道成（国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長）
- 講義 国立大学の経営論（平成29年6月2日）

<大学の評価に関する科目>

- 講師 林 隆之（大学改革支援・学位授与機構 教授）
- 講義 教育研究活動の分析・評価（平成30年3月11日）

<大学の財務会計に関する科目>

- 講師 片山 英治（野村證券株式会社金融公共公益法人部公共公益法人課 主任研究員）
- 講義 「イノベーション時代の大学財務マネジメント」に必要な取り組みを考える
（平成29年12月16日）
- 講師 佐藤 大吾（株式会社JG マーケティング代表取締役 CEO、一般財団法人ジャパンギビング 代表理事）
- 講義 大学等における多様な資金の獲得方策（平成29年9月27日）
- 講師 福井 文威（政策研究大学院大学 助教授）
- 講義 米国高等教育と寄付政策（平成29年9月28日）
- 講師 宮内 忍（宮内公認会計士事務所 公認会計士）
- 講義 国立大学の財政・会計とガバナンス（平成29年6月3日）
- 講師 吉田 房代（一般社団法人ジャパン・トレジャー・サミット事務局代表）
- 講義 寄附獲得拡大に向けた戦略的な体制とは～経営者視点から考える～
（平成29年9月28日）

<イノベーション各論に関する科目>

講師 西村 訓弘（三重大学副学長、地域イノベーション推進機構副機構長、地域戦略センター長、オープンイノベーション施設責任者、キャンパス・インキュベータ施設責任者、大学院地域イノベーション学研究所 教授）

講義 地方国立大学の経営戦略-地域での存在意義を自覚した三重大学における改革-
（平成 29 年 12 月 17 日）

講師 宮本 岩男（経済産業省製造産業局化学物質管理 課長）
講義 産学連携活動の見える化を通じた更なる深化に向けて
（平成 29 年 12 月 15 日）

講師 山本 貴史（株式会社東京大学 TLO 代表取締役 社長）
講義 大学間格差が広がる産学連携活動（平成 30 年 3 月 10 日）

講師 渡部 俊也（東京大学大学執行役・副学長）
講義 大学における知的財産活用の戦略とマネジメント（平成 30 年 3 月 10 日）

2.2.2 ワークショップ

講師 Scott Biddy (Vice Chancellor, University of California-Berkeley (Retired))
Timothy Warner (Vice Provost for Budget and Auxiliaries Management,
Stanford University)

タイトル スペシャル・レクチャー（平成 29 年 12 月 17 日）

講師 John Etchemendy (Provost Emeritus, The Patrick Suppes Family Professor
of Humanities and Sciences, Stanford University)

タイトル スペシャル・レクチャー（平成 30 年 3 月 10 日）

2.2.3 鼎談

（平成 30 年 3 月 10 日）

講師 黒川 清（政策研究大学院大学・東京大学 名誉教授）
上山 隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）

（平成 29 年 6 月 3 日）

講師 Benno C. Schmidt（ニューヨーク市立大学理事会議長、元エール大学 学長）
三島 良直（東京工業大学 学長）
白井 克彦（早稲田大学名誉顧問、元早稲田大学学長、元放送大学学園 理事長）

2.3 平成 30 年度

2.3.1 講義

| 内容 | 講師 | 講義 |
|--|----------------|---|
| <政策に関する科目> 科学技術政策論 高等教育政策論 | 有本 建男 | 国連 SDGs とブダペスト宣言と 21 世紀の科学技術 |
| <大学の戦略・マーケティングに関する科目> 大学経営戦略論 | 上山 隆大 | 大学マネジメント論 |
| | 金子 元久 | 国立大学の経営課題 |
| <大学の人事・組織に関する科目> 大学組織ガバナンス論 人材マネジメント論 リーダーシップ論 | 安西 祐一郎 | 大学改革のゆくえ |
| | 濱口 道成 | 国立大学の経営：私の視点 |
| <大学の評価に関する科目> 教育評価論 研究評価論 | 林 隆之 | 教育研究評価と財政的持続可能性 |
| | Iris Wieczorek | The German Initiative for Research Excellence as an Accelerator of Change |
| <大学の財務会計に関する科目> 大学財務会計論 フィランソロピー論 | 片山 英治 | 知識基盤時代における大学経営・財務のあり方を考える |
| | 宮内 忍 | 大学の財務会計論：国立大学法人の財政・会計とガバナンスについて |
| <産学連携に関する科目> アントレプレナーシップ論 産業連携マネジメント論 地域連携マネジメント論 | 菅 裕明 | アントレプレナーシップ戦略：東大発バイオベンチャー・ペプチドリームのカースタディ |
| <知財に関する科目> 大学技術移転マネジメント論 知的財産権論 | 山本 貴史 | 産学連携で成功する大学の知財マネジメント |

<政策に関する科目>

- 講師 有本 建男（政策研究大学院大学客員教授、科学技術振興機構 上席フェロー、公益財団法人国際高等研究所 副所長）
講義 『国連 SDGs とブダペスト宣言と 21 世紀の科学技術』（平成 31 年 2 月 3 日）

<大学の戦略・マーケティングに関する科目>

- 講師 上山 隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
講義 『大学マネジメント論』（平成 30 年 7 月 1 日）

- 講師 金子 元久（筑波大学大学研究センター 特命教授）
講義 『国立大学の経営課題』（平成 30 年 7 月 1 日）

<大学の人事・組織に関する科目>

- 講師 安西 祐一郎（独立行政法人日本学術振興会顧問・学術情報分析センター 所長）
講義 『大学改革のゆくえ』（平成 30 年 6 月 30 日）

- 講師 濱口 道成（国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長）
講義 『国立大学の経営：私の視点』（平成 30 年 6 月 30 日）

<大学の評価に関する科目>

- 講師 林 隆之（政策研究大学院大学 教授）
講義 『教育研究評価と財政的持続可能性』（平成 30 年 12 月 8 日）

- 講師 Iris Wiczorek（President, IRIS Science Management Inc.）
講義 “The German Initiative for Research Excellence as an Accelerator of Change”
（平成 31 年 2 月 3 日）

<大学の財務会計に関する科目>

- 講師 片山 英治（野村證券株式会社金融公共公益法人部公共公益法人課 主任研究員）
講義 『知識基盤時代における大学経営・財務のあり方を考える』
（平成 30 年 12 月 7 日）

- 講師 宮内 忍（宮内公認会計士事務所 公認会計士）
講義 『大学の財務会計論：国立大学法人の財政・会計とガバナンスについて』
（平成 30 年 12 月 7 日）

<イノベーション各論に関する科目>

- 講師 菅 裕明（東京大学大学院理学系研究科 教授、ペプチドリーム株式会社 社外取締役）

- 講義 『アントレプレナーシップ戦略：東大発バイオベンチャー・ペプチドリームのケーススタディ』（平成 31 年 2 月 2 日）

- 講師 山本 貴史（株式会社東京大学 TLO 代表取締役社長、東京大学副理事）
講義 『産学連携で成功する大学の知財マネジメント』（平成 31 年 2 月 2 日）

2.3.2 ワークショップ

講師 **Richard C. Levin** (President Emeritus of Yale University)

タイトル スペシャル・レクチャー (平成 30 年 12 月 7 日)

講師 **David Sweeney** (Executive Chair, Research England)

Graeme Rosenberg (Head of Teaching Excellence Framework, Office for Students)

タイトル スペシャル・レクチャー (平成 31 年 2 月 2 日)

3. 海外プログラム

| | 研修先機関名 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----|------------------|----------|----------|----------|
| 長期 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 | ○ | ○ | ○ |
| | シンガポール国立大学 | — | ○ | ○ |
| 短期 | シンガポール国立大学 | ○ | — | — |
| | カリフォルニア大学バークレー校 | — | — | ○ |
| | スタンフォード大学 | — | ○ | ○ |
| | シカゴ大学 | ○ | ○ | ○ |
| | ウォータールー大学 | — | ○ | ○ |

3.1 カリフォルニア大学サンディエゴ校

【目的】

カリフォルニア大学システム、カリフォルニア大学サンディエゴ校の戦略計画、財務マネジメント、研究とイノベーションの創出、産学連携マネジメント、寄附、卒業生と地域とのかわり等について、以下の講義をとおし修得する。

- Academic Facilities, Resources, & Support Services
- Alumni Relations
- Building Research Capacity – San Diego State University
- Case Study: Institute for the Global Entrepreneur (IGE)
- Case Study: Rady School Of Management
- Commercialization of Research at UC San Diego
- Community Engagement
- Developing a Long Term Strategic Plan
- Discussion with the Vice Chancellor for Research
- Faculty Governance at the Campus and UC Levels
- Faculty Hiring, Retention, & Evaluation
- Failed Initiatives and Lessons Learned
- Federal Government Research Relations
- Financial Management - Balanced Scorecard Approach
- Financial Management - Overview
- Financial Management at UC San Diego
- Financing Capital Projects
- Financing of Undergraduate Education
- Friends & Community Supporters
- Fundraising in Asia
- Governance: UC Regents & UCOP
- Growing Gracefully
- Historical Overview of the UC System
- Incubator/Accelerator: StartR/mystartupXX
- Institute for the Global Entrepreneur
- International Outreach

- Long Term Strategic Planning
- Long Term Strategic Planning: Implementation
- Long Term Strategic Planning: Overview
- Long Term Strategic Planning: SMART Metrics
- Measuring and Communicating Economic Impact
- Multidisciplinary Research
- Overview of Innovation and Commercialization at UCSD
- Overview of Science Policy in the U.S.
- Overview UC San Diego Health Sciences
- Philanthropic Giving & Community Supporters
- Philanthropic Giving
- Program Wrap-Up and Final Debrief
- Recruiting Talent for Senior University Management Positions
- Redevelopment of Hillcrest Medical Center
- Research Administration Training Program
- Research at UCSD
- Research at UCSD: Office of Research Affairs
- Research Policies: Compliance & Conflict of Interest
- Research Policies: Compliance, Contracting, etc.
- Research Policies: Conflict of Interest
- Research Policies: Sponsored Research
- Role of the Executive Vice Chancellor and Deans at UC San Diego
- San Diego Supercomputer Center Visit
- SMART Metrics
- Sponsored Research at UC San Diego
- Strategic Academic Development Program (SADP)
- Strategic Plan Implementation
- Technology Transfer Issues
- The Changing Context for the UC System
- UC San Diego Health Sciences
- UC San Diego Health Sciences:Skaggs School of Pharmacy & Pharmaceutical Sciences
- UC San Diego Health Sciences:The School of Medicine
- UC San Diego Health Sciences:UC San Diego Health Overview
- UC San Diego Jacobs School of Engineering
- UC San Diego Rady School of Management
- UCSD Administrative Structure
- UCSD Administrative Structure: Overview & Senior Management
- Understanding the UC System and California Higher Education
- University Ranking Systems
- University Research and Regional Development

3.2 シンガポール国立大学

【目的】

国際的な協力を積極的に進めアジアのグローバル大学のリーダーを目指して様々な取り組みを行い、アジアを代表する研究開発大学の地位を如何に短期間で確立できたのか、大学執行部メンバーからその大学マネジメント戦略について、以下の講義をとおり修得する。

- Academic and Administrative Management in a Global University
- Advancing Student Development
- Campus planning and Infrastructure Development
- Curriculum Design and Management
- Dialogue with NUS President: World-Class Universities- From Vision to Effective Implementation
- Duke-NUS Medical School Overview and Tour
- Entrepreneurship as a driver for growth
- Entrepreneurship in Academia: Collaborations with Government and Industry
- Imaginarium Tour
- Impact and Governance: Redefining relevance in research
- Internationalisation and Institutional Partnerships
- Managing a leading global university: What does it mean to inspire, educate and transform
- NUS as an institution for lifelong learning for a tech- driven future
- Panel Session: Academic and Administrative Management in a Global University
- Preparing Future Ready Graduates
- Preparing students for the VUCA World
- Provost's Dialogue: University Governance, Stakeholders Engagement and Global Talent Management
- Research Management and Benchmarking
- Technology Enhanced Education – Good Thing, or Flash in the Pan?
- The university as institution for lifelong learning for a tech-driven future
- Tour @ BLOCK71
- Tour of University Town and presentation of Campus Planning and Infrastructure Development
- Tour of Yong Loo Lin School of Medicine and Case Study of technological innovations in teaching. (Virtual Interactive Human Anatomy presentation)
- University Town Tour
- Visit to a corporate lab
- Visit to Keio-NUS CUTE Centre
- Visit to National Research Foundation (NRF) Singapore
- Visit to The Hangar (Start-up incubator/accelerator)
- Yale-NUS College Tour

3.3 シカゴ大学

【目的】

プレジデントオフィス、プロボストオフィスを訪問し、大学執行部メンバーとの面談とおし、シカゴ大学全体のガバナンス運営、ファイナンス、教育研究のマネジメントについて、大学の戦略や執行部メンバーの役割について学ぶ。

3.4 スタンフォード大学

【目的】

プレジデントオフィス、プロボストオフィスを訪問し、大学執行部メンバーとの面談をとおり、スタンフォード大学全体のガバナンス運営、特にプレジデントとプロボストの役割分担、また、学際的な研究を進めるための最先端研究拠点を訪問し研究活動の取り組みを学ぶ。

3.5 カリフォルニア大学バークレー校

【目的】

州政府からの交付金削減という日本の国立大学における状況と類似した課題を、バークレー校の強固なリーダーシップによりどのような戦略をとおして克服したのかを学ぶ。

3.6 ウォータールー大学

【目的】

地域の経済・産業発展を支える人材の育成という社会ニーズに応えるために設立されたウォータールー大学が、設立当初から発展させてきた民間企業との連携による独自のアントレプレナーシップ及び技術移転教育、また学習と関連した就業体験を組み合わせた教育モデル：Co-operative Education (Co-op)について学ぶ。

4. ユニバーシティ・リーダーズ

本事業におけるイノベーション経営人材のネットワーク構築を目的として、国内のみならず世界的にトップレベルの海外の研究大学において先駆的な大学経営の手腕を発揮されたリーダーズを招聘しシンポジウムを開催した。より幅広い関係者を対象に、世界のユニバーシティ・リーダーズをとおり海外の大学のトップマネジメントに対する理解を深める機会を提供し、シンポジウムにおいて直接対話の機会を設けネットワーク構築を行った。3 カ年事業をとおりしてシンポジウム等に招聘したユニバーシティ・リーダーズ及び国内リーダーズは次のとおりである。

| <ユニバーシティ・リーダーズ> | |
|-------------------------|---|
| Benno C. Schmidt | Chairman of the Board of Trustees of the City University of New York, 20 th President of Yale University |
| Jonathan R. Cole | John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus- Columbia University |
| Mary Walshok | Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego |
| Tan Chorh Chuan | President, National University of Singapore |
| Michael Arthur | President & Provost, University College London |
| Scott Bidy | Vice Chancellor, University of California-Berkeley (Retired) |
| Timothy Warner | Vice Provost for Budget and Auxiliaries Management, Stanford University |
| John Etchemendy | Provost Emeritus, The Patrick Suppes Family Professor of Humanities and Sciences, Stanford University |
| Richard C. Levin | President Emeritus of Yale University |
| David Sweeney | Executive Chair, Research England |
| Graeme Rosenberg | Head of Teaching Excellence Framework, Office for Students |

4.1 シンポジウム

【平成 28 年度】

講演者 **Jonathan R. Cole** (John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus- Columbia University)

タイトル Creating Still Greater Research Universities
(平成 28 年 9 月 30 日)

講演者 **Mary Walshok** (Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego)

タイトル The American Research University Serving Society
(平成 28 年 12 月 16 日)

講演者 **Tan Chorh Chuan** (President, National University of Singapore)

タイトル A Future of The Research University in Asia
(平成 28 年 2 月 25 日)

【平成 29 年度】

講演者 **Michael Arthur** (President & Provost, University College London)
タイトル The Role of Philanthropy for Advancing Scientific Research at UCL
(平成 29 年 9 月 27 日)

講演者 **Scott Biddy** (Vice Chancellor, University of California-Berkeley (Retired))
タイトル Current Trends in Higher Education Philanthropy
(平成 29 年 12 月 16 日)

講演者 **Timothy Warner** (Vice Provost for Budget and Auxiliaries Management,
Stanford University)
タイトル Management and Resource Allocation Structures for Institutional
Effectiveness: Stanford University as a Case Study
(平成 29 年 12 月 16 日)

講演者 **John Etchemendy** (Provost Emeritus, The Patrick Suppes Family Professor
of Humanities and Sciences, Stanford University)
タイトル Building a Strong University (System)
(平成 30 年 3 月 9 日)

【平成 30 年度】

講演者 **Richard C. Levin** (President Emeritus of Yale University)
タイトル How to Build a World-Class University
(平成 30 年 12 月 6 日)

講演者 **David Sweeney** (Executive Chair, Research England)
タイトル What is High-Quality Research in the 21st Century
(平成 31 年 2 月 1 日)

講演者 **Graeme Rosenberg** (Head of Teaching Excellence Framework, Office for
Students)
タイトル Measuring and Promoting Teaching Excellence in UK Higher Education
(平成 31 年 2 月 1 日)

4.2 パネルディスカッション

Jonathan Cole パネルディスカッション（平成 28 年 10 月 1 日）

- パネラー **Jonathan Cole** (John Mitchell Mason Professor of the University, Provost and Dean of Faculties, Emeritus- Columbia University)
小川 哲生 (大阪大学 理事・副学長)
木村 彰吾 (名古屋大学 理事・副総長)
千葉 一裕 (東京農工大学 教授・副学長)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

Mary Walshok パネルディスカッション（平成 28 年 12 月 16 日）

- パネラー **Mary Walshok** (Associate Vice Chancellor for Public Programs and Dean of Extension at the University of California San Diego)
高田 仁 (九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻 (九州大学ビジネス・スクール) 教授)
西村 訓弘 (三重大学 副学長、地域イノベーション推進機構副機構長、地域戦略センター長、オープンイノベーション施設責任者、キャンパス・インキュベータ施設責任者、大学院地域イノベーション学研究所 教授)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

Michael Arthur パネルディスカッション（平成 29 年 9 月 27 日）

- パネラー **Michael Arthur** (President & Provost, University College London)
小宮山 宏 (東京大学第 28 代総長、ジャパン・トレジャー・サミット代表理事)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

Scott Bidly&Timothy Warner パネルディスカッション（平成 29 年 12 月 16 日）

- パネラー **Scott Bidly** (Vice Chancellor, University of California-Berkeley (Retired))
Timothy Warner (Vice Provost for Budget and Auxiliaries Management, Stanford University)
木村 彰吾 (名古屋大学 理事・副総長)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

John Etchemendy パネルディスカッション（平成 30 年 3 月 9 日）

- パネラー **John Etchemendy** (Provost Emeritus, The Patrick Suppes Family Professor of Humanities and Sciences, Stanford University)
湊 長博 (京都大学 プロボスト、理事・副学長)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

Richard C. Levin パネルディスカッション（平成 30 年 12 月 6 日）

- パネラー **Richard C. Levin** (President Emeritus of Yale University)
松尾 清一 (名古屋大学 総長)
上山 隆大 (内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員)

David Sweeney&Graeme Rosenberg パネルディスカッション（平成 31 年 2 月 1 日）

パネラー **David Sweeney** (Executive Chair, Research England)

Graeme Rosenberg (Head of Teaching Excellence Framework, Office for Students)

林 隆之（政策研究大学院大学 教授）

上山 隆大（内閣府総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）

4.3 鼎談

Tan Chorh Chuan 鼎談（平成 29 年 2 月 25 日）

登壇者 **Tan Chorh Chuan** (President, National University of Singapore)

安西 祐一郎（独立行政法人日本学術振興会 理事長）

濱口 道成（国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長）

Benno C. Schmidt&日本の国立大学の学長との鼎談（平成 29 年 6 月 3 日）

登壇者 **Benno C. Schmidt** (Chairman of the Board of Trustees of the City University of New York, 20th President of Yale University)

白井 克彦（早稲田大学 名誉顧問、元早稲田大学 学長、元放送大学学園 理事長）

三島 良直（東京工業大学 学長）

5. 世界の大学事情

本事業では、ボストンカレッジ高等教育センターの協力のもと、「International Higher Education」に掲載されたを翻訳し、海外の大学経営事情に関するものをメールマガジンにより配信した。3カ年事業において配信したは次のとおりである。

『研究における協力と海外への移動』

- 原 題 Research Collaboration and Global Migration
著 者 Gali Halevi (エルゼビア (Elsevier)・ニューヨーク支社インフォメトリック・リサーチ・グループ所属)
 Henk F. Moed (エルゼビア本社 (オランダ・アムステルダム) インフォメトリック・リサーチ・グループ所属)
刊 行 NO 72: 2013 SUMMER

『研究と教育において卓越性 (エクセレンス) が意味するもの』

- 原 題 The Implications of Excellence in Research and Teaching
著 者 Johannes Wespel (ドイツ・HIS 高等教育研究所 研究員)
 Dominic Orr (ドイツ・HIS 高等教育研究所 プロジェクトリーダー)
 Michael Jaeger (ドイツ・HIS 高等教育研究所 副所長)
刊 行 NO 72: 2013 SUMMER

『研究大学：アメリカ例外論？』

- 原 題 Research Universities: American Exceptionalism?
著 者 Henry Rosovsky (ハーバード大学教養学部長・名誉教授)
刊 行 NO 76: 2014 SUMMER

『大学学位取得傾向の説明における人口統計の重要性』

- 原 題 The Importance of Demographics in Explaining Attainment Patterns
著 者 Arthur M. Hauptman (高等教育金融問題専門政策コンサルタント)
刊 行 NO 76: 2014 SUMMER

『研究大学における学術的生産性の中身とは』

- 原 題 What Counts for Academic Productivity in Research Universities?
著 者 Philip G. Altbach (ボストンカレッジ国際高等教育センター・教授)
刊 行 NO 79: 2015 WINTER

『米国のカーネギー高等教育機関分類：隠れた意義と問題点』

- 原 題 The Carnegie Classification of American Higher Education: More—and Less—Than Meets the Eye
著 者 Philip G. Altbach (ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授・創設センター長)
刊 行 NO 80: 2015 SPRING

『カリフォルニアと公立高等教育の未来』

原 題 California and the Future of Public Higher Education
著 者 Simon Marginson (ロンドン大学 UCL インスティテュート・オブ・エデュケーション国際教育学教授、Higher Education 合同編集長)
刊 行 NO 82: 2015 FALL

『世界大学ランキング：新しい年には、新しい手法？』

原 題 Another Year, Another Methodology: Are Rankings Telling Us Anything New?
著 者 Ellen Hazelkorn (アイルランド高等教育局政策顧問、高等教育政策研究ユニット (Higher Education Policy Research Unit; HEPRU) 名誉教授兼所長)
Andrew Gibson (HEPRU 上級研究助手、ダブリン大学トリニティ・カレッジ博士号候補者) "
刊 行 NO 84: 2016 WINTER

『Citius, Altius, Fortius (より速く、より高く、より強く)：世界大学ランキングは高等教育の「オリンピック」か？』

原 題 Citius, Altius, Fortius: Global University Rankings as the “Olympic Games” of Higher Education?
著 者 Maria Yudkevich (ロシア国立研究大学高等経済学院副学長)
Philip G. Altbach (ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授・創設センター長)
Laura E. Rumbley (ボストンカレッジ国際高等教育センター準センター長)
刊 行 NO 84: 2016 WINTER

『U-Multirank(ユール・マルチランク)と中南米諸国の大学』

原 題 U-Multirank and Latin American Universities
著 者 Ana García de Fanelli (アルゼンチン・国家社会研究センター (CEDES) 国立科学技術研究会議研究員)
刊 行 NO 84: 2016 WINTER

『大学イノベーションの“隠し味”とは何か』

原 題 What Is the “Special Sauce” for University Innovation?
著 者 Philip G Altbach (ボストンカレッジ国際高等教育センター・教授)
Jamil Salmi (世界高等教育専門家、元世界銀行高等教育コーディネーター)
刊 行 NO 85: 2016 SPRING

『学生の海外移動を促進する就労機会』

原 題 Employment Opportunity as a Driver of Student Mobility
著 者 Christine Farrugia (米国・国際教育研究所アカデミック・モビリティ・リサーチ&インパクト研究所 上級研究官)
刊 行 NO 85: 2016 SPRING

『研究の流動性（リサーチ・モビリティ）は生産性や影響力に効果があるか？』

原 題 Does Research Mobility Have an Effect on Productivity and Impact?
著 者 Gali Halevi (米国・マウントサイナイ医療機構図書館、チーフディレクター)
Henk F. Moed (イタリア・サピエンツァ・ローマ大学、コンピューター制御マネジメントエンジニアリング研究科教授)
Judit Bar-Ilan (イスラエル・バル＝イラン大学情報科学研究科教授)
刊 行 NO 86: 2016 SUMMER

『ブレグジットと来たるべきヨーロッパの姿』

原 題 Brexit and the European Shape of Things to Come
著 者 Fiona Hunter (サクロ・クオーレ・カトリック大学高等教育国際化センター
アソシエイト・ディレクター)
Hans de Wit (米国ボストンカレッジ国際高等教育センター教授兼センター
長)
刊 行 NO 87: 2016 FALL

『欧州大学における経済危機の余波』

原 題 European Universities in the Aftermath of the Economic Crisis
著 者 Jo Ritzen (マーストリヒト大学国際経済学(科学・技術・高等教育)教授)
刊 行 NO 87: 2016 FALL

『シンガポールの「グローバルスクールハウス」への野心』

原 題 Singapore's "Global Schoolhouse" Aspirations
著 者 Jason Tan (シンガポール国立教育学院 准教授)
刊 行 NO 87: 2016 FALL

『世界トップクラス (World-class) の大学をつくるためのエクセレンス・イニシアチブは機能するか？』

原 題 Excellence Initiatives to Create World-Class Universities: Do They Work?
著 者 Jamil Salmi (世界高等教育専門家、元世界銀行高等教育コーディネーター)
刊 行 NO 87: 2016 FALL

『世界トップクラス (World-class) の大学への資金供給』

原 題 Funding World-Class Universities
著 者 Alex Usher (カナダ高等教育戦略協会会長)
刊 行 NO 87: 2016 FALL

『大学教員の国際移動:重要かつ研究の余地の大きい主題』

原 題 International Faculty Mobility: Crucial and Understudied
著 者 Laura E. Rumbley (米国・ボストンカレッジ国際高等教育センター 副
センター長)
Hans de Wit (米国・ボストンカレッジ国際高等教育センター センター長)
刊 行 NO 88: 2017 WINTER

『イギリスの教育評価制度 (Teaching Excellence Framework) とその展望』

- 原 題 What is the Teaching Excellence Framework in the United Kingdom, and Will it Work?
著 者 Paul Ashwin (英国ランカスター大学教育研究学部教授兼グローバル高等教育研究センター研究員)
刊 行 NO 88: 2017 WINTER

『「他者」への反動』

- 原 題 Backlash Against “Others”
著 者 Gary Rhoades (米・アリゾナ大学教授兼同大学高等教育研究センター長)
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『トランプと高等教育の国際化における来たる革命』

- 原 題 Trump and the Coming Revolution in Higher Education Internationalization
著 者 Philip G. Altbach (米国ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授兼創設理事)
 Hans de Wit (米国ボストンカレッジ国際高等教育センター教授兼センター長)
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『トランプとブレグジット時代の大学教員の国際的なモビリティ』

- 原 題 Academic Staff Mobility in the Age of Trump and Brexit?
著 者 Liudvika Leisyte (ドイツ・ドルトムント工科大学高等教育センター教授 (高等教育))
 Anna-Lena Rose (ドイツ・ドルトムント工科大学高等教育センター研究・教育助手、博士課程学生)
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『世界大学ランキングは大学により高い業績をもたらす原動力となるか』

- 原 題 Do Rankings Drive Better Performance?
著 者 Simon Marginson (英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン教育研究所国際高等教育教授兼 ESRC/ HEFCE グローバル高等教育研究センター長)
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『大衆化の時代における大学ランキング—大多数にとっては無意味』

- 原 題 Pursuing Rankings in the Age of Massification: For Most—Forget About It
著 者 Philip G. Altbach (米国ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授兼創設理事)
 Ellen Hazelkorn (アイルランド高等教育局政策顧問、高等教育政策研究ユニット (Higher Education Policy Research Unit; HEPRU) 名誉教授兼所長)
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『危機に立つ米国の大学教授職』

原 題 The American Academic Profession at Risk
著 者 Martin J. Finkelstein (米国 Seton Hall 大学教授 (高等教育))
刊 行 NO 89: 2017 SPRING

『グローバル・エンゲージメントの再構成』

原 題 Reframing Global Engagement
著 者 Marijk van der Wende (オランダ・ユトレヒト大学高等教育教授) s
刊 行 NO 90: 2017 SUMMER

『アメリカ合衆国・ヨーロッパ・アジア：ノーベル賞受賞者の所属の多様性』

原 題 United States, Europe, and Asia: Diversity in Nobel Prize-Winning Affiliations
著 者 Elisabeth Maria Schlagberger (独・マックス・プランク生化学研究所情報専門官)
Lutz Bornmann (独・マックス・プランク協会管理本部科学者)
Johann Bauer (独・マックス・プランク生化学研究所科学者兼情報専門官)
刊 行 NO 90: 2017 SUMMER

『東アジアにおける高等教育の地域化』

原 題 Higher Education Regionalization in East Asia
著 者 Edward W. Choi (米・ボストンカレッジ国際高等教育センター博士課程学生)
刊 行 NO 90: 2017 SUMMER

『高等教育システムの大衆化と研究大学』

原 題 Postsecondary Systems, Massification, and the Research University
著 者 Philip G. Altbach (米国ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授兼創設理事)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『無料の高等教育：平等と公平の誤解』

原 題 Free Higher Education: Mistaking Equality and Equity
著 者 Ariane de Gayardon (英・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン グローバル高等教育研究センター研究員)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『高等教育機関における収入条件型 (Income-Targeted) の授業料無料化(とその危険性)』

原 題 The Emergence (and Perils) of Income-Targeted Free Tuition
著 者 Alex Usher (カナダ高等教育戦略協会会長)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『マレーシアの公立大学と予算削減』

原 題 Public Universities and Budget Cuts in Malaysia
著 者 Doria Abdullah (マレーシア工科大学専門・継続教育学部 (UTMSPACE)
上級講師、国境なき高等教育観測所 (Observatory on Borderless Higher
Education: OBHE) 研究員)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『十分な財政支援を行う機会の再喪失？オーストラリアの高等教育の財源不足』

原 題 Another Missed Opportunity? Underfunding Australian Higher
Education
著 者 Anthony Welch (シドニー大学教育学部教授、天津大学「海外名師」兼 PhD
指導官)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『インド：世界トップクラスの大学？』

原 題 India: World-Class Universities?
著 者 Philip G. Altbach (米・ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授兼
創設理事)
Jamil Salmi (世界高等教育専門家、元世界銀行職員)
刊 行 NO 91: 2017 FALL

『高等教育のアクセスおよび卒業ポリシーに関する英米における教訓』

原 題 Transatlantic Lessons on Higher Education Access and Completion Policy
著 者 Kevin J. Dougherty (米・コロンビア大学ティーチャーズカレッジ教授 (高
等教育))
Claire Callender (英・バークベックカレッジ教授兼英・ユニバーシティ・
カレッジ・ロンドン教育研究所教授)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『科学的コミュニケーションにおける無秩序状態と搾取』

原 題 Anarchy and Exploitation in Scientific Communication
著 者 Philip G. Altbach (米・ボストンカレッジ国際高等教育センター研究教授兼
創設理事)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『学長職のグローバル化：優れたリーダーシップのための競争』

原 題 Globalizing the Academic Presidency: Competing for Talented
Leadership
著 者 Richard A. Skinner (ハリス研究会シニアコンサルタント・カナダロイヤル
ローズ大学およびアメリカクレイトン州立大学元学長)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『海外ブランチキャンパス：それは研究大学たりうるか？』

原 題 International Branch Campuses: Can They Be Research Universities
著 者 Agustian Sutrisno (アトマジヤカトリック大学インドネシア講師、米・ボストンカレッジ国際高等教育センターフルブライト客員研究員)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『大学の国際化：ドイツの方法』

原 題 Internationalization of Universities: The German Way
著 者 Marijke Wahlers (ドイツ学長会議国際部部長)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『米国の大学における国際化のマッピング』

原 題 Mapping Internationalization on US Campuses
著 者 Lucia Brajkovic (米国教育協議会 (American Council on Education) 上級研究専門員)
Robin Matross Helms (米国教育協議会 (American Council on Education) 国際化およびグローバル・エンゲージメント部門 (Internationalization and Global Engagement) 部門長)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『市場に情報を公開する方がより望ましいのか？イギリスの高等教育における教育評価制度 (TEF)』

原 題 Better Informing the Market? The Teaching Excellence Framework (TEF) in British Higher Education
著 者 Michael Shattock (英・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン教育研究所グローバル高等教育研究センター客員教授)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『ウェールズの高等教育の再構想』

原 題 Reenvisioning Welsh Postcompulsory Education
著 者 Ellen Hazelkorn (アイルランド高等教育政策研究ユニット (HEPRU: Higher Education Policy Research Unit) 名誉教授兼所長、アイルランド BH Associates 教育政策コンサルタント)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER

『フランスにおける最優秀大学群の形成：平等から厳選主義への移行傾向？』

原 題 Creating National Champions in France: A Little Less Égalité, a Little More Sélectivité?
著 者 Ludovic Highman (英・ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン教育研究所上級研究者)
刊 行 NO 92: 2018 WINTER